

**「刈谷市住生活基本計画」  
パブリックコメントの結果について**

**1 実施状況**

- (1) 募集期間 平成 29 年 12 月 1 日（金）～平成 30 年 1 月 4 日（木）[35 日間]
- (2) 意見の件数 5 件（3 人）
- (3) 提出方法の内訳 持参：3 件、FAX：2 件

**2 内容別意見の件数**

序 章 はじめに	0 件
第 1 章 住まい・まちづくりの現状	0 件
第 2 章 基本方針と目標	1 件
第 3 章 基本的な施策	4 件
第 4 章 成果指標	0 件
第 5 章 計画の推進に向けて	0 件

**3 意見の概要と市の考え方**

■第 2 章 基本方針と目標

No.	頁	意見の概要	市の考え方
1	29	<p>北部の「草野池」は、かつて冬期になるとカモ類が多数飛来していたが、最近では、あまり見られないと思う。</p> <p>カモ類の飛来条件（自然環境）を整え、自然保護及び景観の向上を図り、観光や市民の楽しみの一つに生かすのはどうか。</p>	<p>本計画の上位計画となる「第 7 次刈谷市総合計画」において、「洲原池、岩ヶ池、草野池をはじめとする北部ため池群は、野鳥が数多く飛来する貴重な自然環境であり、その保全に努めます。」また、「ため池の持つ水と緑、動植物の生息する水辺空間の回復や保全に努め、憩いの場や社会学習の場として活用します。」と示しています。今後も、自然豊かで貴重なため池の自然環境の保全を図るとともに、良好な水辺空間の創出に努めていきますので、いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

■第 3 章 基本的な施策

No.	頁	意見の概要	市の考え方
2	35	<p>最近、テレビ等で空き家が問題になっていると見かけるようになりました。その対策として「空き家バンク」を設置している自治体があるので、刈谷市も「空き家バンク」を設置してはどうか。</p>	<p>本市の空き家の対策としては、空き家などの所在や状態を把握する調査の実施や所有者などへ適切な管理を依頼するとともに、平成 30 年度の「空家等対策計画」の策定に向けて事業を進めています。空き家バンクの設置については、今後、その必要性や方法等を検討します。</p>

3	36	<p>市民だよりで、解体予定の家を募集して、耐震工事の実例実演を開催してはどうか。</p>	<p>耐震改修工事の啓発活動については、NPO法人との連携により、定期的に住まいの耐震化改修相談会を開催しています。</p> <p>また、総合防災訓練やわんさか祭り等において、耐震化を施した木造模型や家具転倒防止器具の展示及び地震体験車を配置するなど、地震に備える重要性・必要性を周知し、市民の防災意識の醸成を図る取組を行っています。</p> <p>解体予定の家を募集する提案については、個人の財産を活用することになり、いくつかの課題を解決する必要がありますので、今後の参考とさせていただきます。</p>
4	36	<p>以前、市役所で耐震シェルター・ベッドの展示がありましたが、北部・南部地区の方は、市役所に来ることが少ないので、総合防災訓練などの会場に実物を展示すれば、触れることや目に留まると思います。</p> <p>また、地区の防災訓練においても、パネルを展示するのはいかがでしょうか。</p>	<p>市民の防災意識の醸成を図る周知方法として、総合防災訓練やわんさか祭り等の各種イベントにおいて、耐震ブースを設置し、パネル展示や補助制度の紹介を行っています。</p> <p>また、地区の防災訓練等、様々な機会を捉えて、住宅の耐震診断・改修の必要性や補助制度の周知も行っています。</p> <p>総合防災訓練会場等に耐震シェルター・防災ベッドの実物を展示する提案については、今後の参考とさせていただきます。</p>
5	37	<p>区画整理するに当り6m道路の作り方について提案します。</p> <p>道路の両側に歩道75cm、自転車道75cmを確保し、車道は3mとする。道路中央の1m程度の範囲に上下水道、電線等を埋設し、排水勾配も道路中央として側溝を整備する。</p> <p>提案のとおり道路を整備すれば、歩行者・自転車・自動車が同じ立場で利用できる。</p> <p>また、電柱がないことで、道路幅を有効に使用でき、街の景観が良くなり、安全性も向上する。</p>	<p>道路（車道・歩道等）の構造については、道路法や道路構造令などの関係法令等により、道路の持つ役割に合った幅員や勾配などが定められており、この基準に基づき道路整備を行っています。</p> <p>電線類地中化による道路整備については、国の基本的な推進方針をもとに、歩道バリアフリー化を行う路線、景観の軸となる路線、防災関係重要路線として緊急輸送道路及び道路整備と同時に地中化が行える路線などから選定して事業を推進しています。</p> <p>また、歩行者等の安全確保については、ゾーン30の指定やカラー舗装による通学路の明示を行っています。</p>